



# 新年のごあいさつ



蒲郡市長  
金原久雄

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年秋の市長選挙では、市民の皆様方をはじめ各方面からの温かいご支援により、引き続き3期目の重責を担うこととなりました。今後も市民の皆様の声を大切にする市政を着実に推進してまいり所存であります。どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は「白い恋人」「赤福餅」など、食品製造業の不正が多く報道されました。私たちは、製造している会社がきちんとした衛生管理をして作っているという信用を基に、食品をおいしくいただいています。それを裏切られた思いで、非常に残念でありました。そして、行政をあずかる我々市役所も、市民の皆様のご信頼を裏切らない市政を進めていかなければならないと再認識した事件でありました。

私は昨年、選挙の際にマニフェストを掲げ、その中で「災害に強いまちづくり」「社会的弱者を守るまちづくり」「都市基盤整備」「地場産業の活性化」などに加え、「人づくり」にも力を入れていくことを述べてまいりました。

今後は、このマニフェストに沿って市政を進めてまいります。「人づくり」の具体的な事業としては、保護者の負担を減らすための乳幼児医療費助成の引き上げ、ならびに学校においては、35人学級の順次移行と特別支援教育補助員の全校配置によって、きめ細やかな学校教育を行ってまいります。

また、私の愛する蒲郡市は、海と山に囲まれ自然環境はすばらしいのですが、幹線道路の整備が遅れ、他市町村へのアクセスに時間がかかっておりました。そこでこれまで道路整備に代表する都市基盤整備に力を注ぎ、その結果、徐々にではありますが、他市町村へのアクセス時間が短縮されてきました。将来的には国道23号蒲郡バイパス、国道247号中央バイパスが完成すれば、市内の渋滞の解消と他市町村へのアクセス時間の大幅な短縮が期待できます。今後も引き続き、本市の特色である海と山に囲まれたすばらしい自然環境を生かした、賑わいのあるまちづくりに努めてまいります。

本年も、市民の声を大切に、徹底的な行財政改革を進め、「真に自立できる蒲郡」を目指して市政運営に邁進してまいります。変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。